

# URAYASU STYLE

vol. **54**  
2025.1

教育情報紙  
うらやすスタイル  
浦安市教育委員会

## 第1回浦安クリテリウム

素晴らしい快晴の下、浦安市で初開催となる  
「浦安クリテリウム」が開催されました。

次ページで詳しく紹介！

浦安 クリテリウム URAYASU critérium

## Contents

浦安スポーツフェア 2024

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」

あっさり君チャレンジ

地域とともに歩む学校づくり

(明海大学/浦安 D-Rocks)

特別支援教育

etc...

## 「新しい年を迎えて」

2025年が幕を開けました。

今年は4月にいよいよ「学びの多様化学校分教室」が開室します。本市の不登校児童生徒の出現率は、全国や県と比較すると低いものの年々増加傾向にあります。

教育委員会では、不登校傾向にある児童生徒一人一人の状況に寄り添いながら、その子に最も適切な「居場所」を見つけていきたいと考えています。

また今年は、阪神淡路大震災の発災から30年目の節目の年でもあります。私は東日本対震災の後、毎年宮城県石巻市を訪問し、現地の方々との交流を大切にしています。甚大な被害を受けた場所を訪れ、当時の様子や

人々の想いを伺いながら、最近、ようやく被災された方々の私たちに伝えたいことがわかってきたような気がします。それは「あなたは生きてください」というメッセージのような気がしています。

未来を生きる浦安の子どもたちには、自他の命を大切にする子に育ってほしいと願っています。新しい年を迎え、あらためて、子どもたちが「自分にもできるんだ」という経験や隣にいる人の個性を認め、尊重する大切さを実感する経験を積むことのできる教育の充実を図っていこうと決意を新たにしているところです。

浦安市教育委員会 教育長 船橋 紀美江



# 第1回 浦安クリテリウム



第1回浦安クリテリウムが令和6年11月30日(土)に浦安海岸明海・日の出地区堤防護岸エリアで開催され、100名を超える方にご参加いただきました。このイベントは、浦安の水際線等の公共空間を利用した市民が気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツ振興、スポーツツーリズムの推進などを目的としています。浦安クリテリウム実行委員会委員長は浦安市出身で東京五輪にも出場された中村妃智さんに務めていただき、イベント成功のためにご尽力いただきました。



## クリテリウムってどんなことをするの？

クリテリウムレースとは、ロードバイク競技の一種で、短い周回コースを何度も繰り返し走るレースのことです。

ロードレースとは異なり、市街地や公園などの観客が集まりやすい場所で短いコースを何度も周回するため、レースを間近で見ることができます。

## チャリフェス in 浦安クリテリウム2024

浦安市総合公園で同時開催された「チャリフェス in 浦安クリテリウム 2024」では、自転車利用における「交通ルール」「マナー」「安全」を楽しく学ぶことを目的として、交通ルールが学べるブースなどを設置し、子どもたちは楽しんで学んでいました。ステージでは様々なパフォーマンスが行われ、こちらも大盛り上がりでした。



## 中村妃智実行委員長より ～開催を終えて～

地元浦安で自転車レースを開催できたことを、大変嬉しく思います。自転車は移動手段であるだけでなく、子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツです。

次回も「する・みるスポーツ」として、多くの方に楽しんでいただければ幸いです。





# 浦安スポーツフェア 2024

浦安スポーツフェアは、スポーツを通じて市民一人一人が心身ともに明るく健康で生きがいのある生活を送れることを願い、「するスポーツ」の機会の提供を目的として、毎年秋に開催しています。



スケートボード



アーチェリー



車いすバスケットボール



柔道



当日は、約30種目のスポーツ体験が用意され、参加された方々は多くのスポーツに触れていました。

少林寺拳法



弓道



パラ義足体験



剣道



卓球



浦安を拠点として活動とするトッププロスポーツチームにもご協力いただき、アスリートとの貴重な交流機会となりました。

ストラックアウト



サッカー



ラグビー



フットサル





# 浦安アートプロジェクト「浦安藝大」



浦安アートプロジェクト「浦安藝大」は、浦安市と東京藝術大学が連携し、市民とともにアートによって新たな価値の創出やまちの魅力の向上、地域や社会の課題解決のきっかけづくりをしていくプロジェクトです。

より暮らしやすいまちを創るために「アート」の力を活用し、市民とアーティスト、行政が共に浦安市の課題について考え、楽しみ、学び合う場として、ワークショップや展示などを実施しています。

今回は、「浦安藝大」の取り組みを皆さんに知っていただくために、令和6年度に実施した各プログラムの活動をご紹介します。詳しくは、浦安藝大ウェブサイトをご覧ください。 → <https://urayasu.geidai.ac.jp/>

## <プログラム1>「拡張するファッション演習」

アーティスト:西尾美也(東京藝術大学准教授)

ファッションは赤ちゃんからお年寄りまで、どんな人の生活とも結びつく身近な存在です。そんなファッションが、地域の課題解決に対してどのようなアプローチができるのか実践する試みです。

令和6年度は、まちなかに公共のワードローブを作ったり、シルバーカーを装飾したり、綿花の育成を考えたりしながら、浦安市の社会的孤立の防止に向けた試みを行っています。



## <プログラム2>「Value of Waste」

建築家:檜村英実(東京藝術大学准教授)

建築家・檜村英実氏、建築家・蓮溪芳仁氏、東京藝術大学建築科・檜村研究室がチームとなって取り組むプログラムです。

建築家として、浦安市の環境や構造物、人々の行動などを分析することで、地図情報だけでは得られない情報を見出し、新たな視点を探ります。

令和6年度は「ゴミの減量化」と「第一埋立護岸の利活用」の課題を内包したプログラムとして、みんなの散歩道をつくるワークショップを行っています。

## <プログラム3>「護岸アーカイブプロジェクト ー埋立地の記憶を保存するー」

アーティスト:佐藤桃子、横山渚

過去の埋め立て事業の際にできた今川地区から入船地区に続く第一期埋立護岸は、今ではその役割を終え、浦安市の歴史を語るものとして残っています。

ワークショップでは、護岸の役割や背景を知ることから始まり、護岸をまちの記憶として記録する作業をすることで、自分たちが住む浦安を知り、改めて自分たちのまちについて考えました。



## <プログラム4>「イス to ベンチプロジェクト」

アーティスト:佐藤桃子、横山渚

ワークショップでは、椅子を作り、それらを繋ぎ合わせるなどをして、各々の居心地の良い場所を探してみました。「自分」という点を可視化する装置としてのイスを通して他者と自分の距離を認識し、そういった体験を通して「居場所」と「つながり」について共に考えました。





# 【郷土博物館】あっさり君チャレンジ

皆さんはどれくらい『ふるさと浦安』のことを知っていますか？

今年度9月から新たなイベント「あっさり君チャレンジ」が始まりました。

「あっさり君チャレンジ」は毎月2回開催されるイベントで、小学生以上の方に向けた挑戦課題をクリアするイベントとなっています。お手玉・けん玉・コマなどの昔の遊びの技や、工作、展示している物の説明などふるさと浦安に縁が深い計8つのことがらにチャレンジします。すべてクリアすると各級の名人に認定され、認定証と記念品が授与されます。小中学生ボランティア（ジュニア学芸員）がやさしく教えたり、検定したりするので、まだ挑戦したことのない人は、ぜひ博物館にお越しください。



▲クリアすると認定証と記念品がもらえます。

## 《あっさり君チャレンジ 一覧》

	初 級	中 級	上 級
漁 業	浦安の海でとれた貝を5種類言うことができる。	水槽の中の魚について説明できる。	展示物を使って、腰マキ漁と大マキ漁の説明ができる。
漁 船	べか舟を掃除する道具の名前を3つ言うことができる。	べか舟と投網船がどんな船か説明できる。	貝の正しい持ち方、動かし方ができる。（船の展示室のべか舟で）
昔遊び（お手玉）	2つのお手玉を交互に投げ上げ、落とさずに10回続けることができる。	2つのお手玉を交互に投げ上げ、落とさずに20回続けることができる。	3つのお手玉を順番に投げ上げ、落とさずに8回続けることができる。
昔遊び（木コマ）	ひもを巻き、コマを回すことができる。	床の中でコマを回すことができる。	外投げ、内投げで、床の中で、コマを回すことができる。
昔遊び（けん玉）	10回中、1回大皿に乗せることができる。	10回中、1回小皿・中皿に乗せることができる。	10回中1回ろうそく・とめけんができる。
もの作り	紙コプターを作り、飛ばすことができる。	紙デッポウを作り、鳴らすことができる。	ぶんぶんゴマを作り、回すことができる。
昔のくらし	ほうきと雑巾を正しく使い、魚屋を掃除することができる。	浴衣をきちんとたたむことができる。	浴衣を自分で着ることができる。
文化財住宅	敷居について説明できる。	屋外展示場文化財住宅について説明できる。	たばこ屋と漁師の家について詳しく説明できる。

☆ジュニア学芸員や博物館スタッフが説明をし、やり方・作り方を教えてくれます。また、昔遊びは、コツを教わり、練習してからチャレンジすることができます。

☆「説明をする」では、内容を書いた資料が渡されるので、その場で覚えてからチャレンジできます。

ジュニア学芸員が助けてくれます！！👏



・初級、中級は小学校1～3年生、上級は中級を合格した児童と小学校4年生以上が挑戦できます。

・今年度の開催は、2月11日（祝）・24日（振休）・3月1日（土）・26日（水）計4日間、午前の部10時～11時半、午後の部1時半～3時の間に所要時間1時間程度で行います。

・参加費はかかりません。チャレンジカードは、1年間有効で継続使用ができます。

・令和7年度の日程は、決まり次第お知らせします。

・上級に合格するとジュニア学芸員養成講座C講習が免除となる特典があります。



## ジュニア学芸員とは

市内在住の小学校4年生から中学校3年生までの希望する児童生徒が年2回開催している養成講座（A・B・C講習）を受講完了することで認定されるボランティア制度。現在4期目通算99名の認定者が在籍。認定者は、ジュニア学芸員として館内イベントの運営補助に参加したり、スペシャルジュニア学芸員講座（べか舟操船やお洒落踊りなど）を受講したりすることができます。

HPに紹介ページがあるよ！

<https://assarikunn.wixsite.com/website>





# 地域とともに歩む学校づくり

浦安市では、地域とともに子どもを育む学校づくりを推進しており、地域資源を活用した教育活動を積極的に展開しています。今回は、その取組の一部をご紹介します。

## キャンパスツアー [明海大学・SBC東京医療大学・順天堂大学] (入船中学校)

市内には、明海大学、SBC東京医療大学・順天堂大学の3つの大学があります。しかし、大学の近くをよく通るけど、中までは知らないという人は多いのではないのでしょうか。今回その3大学にご協力いただき、入船中学校の2年生がグループに分かれて各大学を訪問しました。「大学」と言われて、なんとなくのイメージはあるけれど、具体的にはどのようなことをするのかまで知っている生徒は多くありません。そこで大学の職員の方より、大学ではどのようなことを学ぶのか、学び・研究を活かし卒業後にどう繋げていくのかといったお話をさせていただきました。その後、大学内の施設を見学し、中学校より大きい教室や、専門的な機器が置かれている教室などを見ると、生徒たちはとても興味津々に見入っていました。入船中学校は1年生で職場体験、2年生ではこのキャンパスツアーを実施し、進路選択へ繋げています。今回のキャンパスツアーが、3年生になった時の進路選択、またその先へと活かされることでしょう。



口腔保健学科の教室見学の様子  
▼ 専門機器に興味津々でした



## 明海大学ハニープロジェクト (明海南小学校)



生態クイズに挑戦



はちみつのお見

まち探検活動の一環として、明海南小学校の2年生が明海大学を訪問しました。明海大学に着くと、大学生の皆さんがお出迎えをしてくださり、大学で取り組んでいる「うらやすハニープロジェクト」にちなんで「生態クイズ」、蜜のもととなる花を探す「蜜源探し」、実際にミツバチがいる「巣箱見学」や、蜜を瓶に詰める体験を行いました。瓶に詰めた蜜は児童たちが持ち帰ることができ、とても嬉しそうにしていました。

このプロジェクトは、浦安市の第一次産業を活性化させるために、ホスピタリティ・ツーリズム学科の方々が様々なアイデアを出し合って始まりました。

この活動を通して、児童たちが市内の産業に興味を持ち、地域への親しみや愛着を深められればと願っています。

## 浦安 D-Rocks 出前授業 (富岡中学校)

ホストタウンを浦安にしているラグビーチーム「浦安D-Rocks」より、安田選手、本郷選手、小西選手、平瀬さんの4名が、富岡中学校の3年生を対象に出前授業を行いました。授業は、ラグビーを2クラスごとに行い、パス回しや1対1のミニゲームを行い、その後一緒に給食を食べるなどをして交流を行いました。



浦安D-Rocksから来られた4名の方々



1対1のタグラグビー

チームでのパス練習

Q.一緒にラグビーをして、富岡中学校の生徒たちにどんな印象を持ちましたか。  
とにかくすごく元気でした！今までで一番って言うくらいすごかったですし、男女ともに積極的に参加してくれたのもうれしかったですね。「スクラム組みたい！」って言うてくれた生徒の子もいたし、最後ミニゲームをやりましたけど、一緒に円陣をした学校は初めてでした。こちらもすごく楽しませてもらいましたし、パワーをもらいました！  
Q.この取組を通して、どんなことを伝えたいですか。  
一番はラグビー、浦安D-Rocksというチームを知ってもらいたいです。そしてラグビーはチームスポーツなので、誰かがミスをしたカバーする助け合いの心を持って欲しいです。  
Q.生徒たちへメッセージをお願いします！  
とてもパワフルな生徒ばかりで、パワーをいただくことができました！ぜひ浦安D-Rocksの試合にも足を運んでみてください！



## 特別支援教育 ～交流スポーツ大会&はっぴい発表会～

浦安市特別支援教育研究連盟が中心となり、10月には「中学校特別支援学級交流スポーツ大会」、11月には「はっぴい発表会」が開催されました。交流スポーツ大会では、市内特別支援学級の生徒が集まり、楽しく体を動かしながら他校の生徒と協力して、ポッチャやソーラン節などを行いました。

はっぴい発表会では、市内小・中学校特別支援学級の児童生徒が午前の部・午後の部に分かれて集まり、日頃の学習の成果を発表・鑑賞しました。子どもたちは、ダンス、歌などこれまで学習してきたことを、多くのお客さんの前で堂々と発表することができました。



劇ソーラン節の発表



チーム対抗ポッチャ



劇の発表

浦安市特別支援教育研究連盟は、特別支援学級担任や通級指導教室担当及び特別支援教育に携わる教職員で組織され、本市の特別支援教育の充実を目的に平成27年度に県の特別支援教育研究連盟に加盟し、発足しました。

「はっぴい発表会」や「交流スポーツ大会」は子どもたちの日々の学習の発表や交流の場としてだけではなく、多様な子どもたちの学びを支えるための、教職員の専門性を深め、資質向上を図る機会ともなっています。

浦安市特別支援教育連盟 理事長  
日の出中学校長 山本 典子

## 姉妹都市オーランド市との交流

アメリカフロリダ州のオーランド市より、Dr. Phillips 高校の生徒が南小学校を訪れました。浦安市とオーランド市は、姉妹都市協定を結んでおり、今年で35周年の節目の年となります。

6年生の各クラスに高校生が加わり、書写、折り紙、けん玉などで交流を行い、どのクラスの児童も積極的にコミュニケーションを取っていました。言語が違う中でも、外国語の授業で学んだことを生かして、身振り手振りを交えて上手に教えており、学習の成果が存分に発揮されていました。

その後は給食、昼休みまで一緒に過ごしました。短い時間でしたが児童たちにとっては貴重な国際交流の機会となり、とても充実した時間を過ごすことができました。



### ～浦安市の英語教育について紹介します～

本市では文部科学省から教育課程特例の指定を受け、1.2年生のうちから外国語活動を実施する特別な教育課程を編成し、3年生からの外国語活動への滑らかな接続を行っています。

#### 1・2年生 年間14時間

あいさつや身の回りの物の名前について、担任の先生やALT、友達とのコミュニケーションを通して、楽しみながら学習を進めます。

#### 3・4年生 年間35時間(週1時間分)

身近なできごとや身の回りの物について、質問したり答えたりして進んで伝え合う学習をします。

#### 5・6年生 年間70時間(週2時間分)

自分の考えや気持ちを伝え合う学習をします。また、英語を書く学習も行います。





# 調査から見える 浦安っ子

## ～小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査～（令和6年度）

市内小中学校保護者と、小中学校に勤務する教員に行っている意識調査です。本調査は、既存事業の進捗管理や、今後の政策立案のための基礎資料として活用することを目的として実施しています。

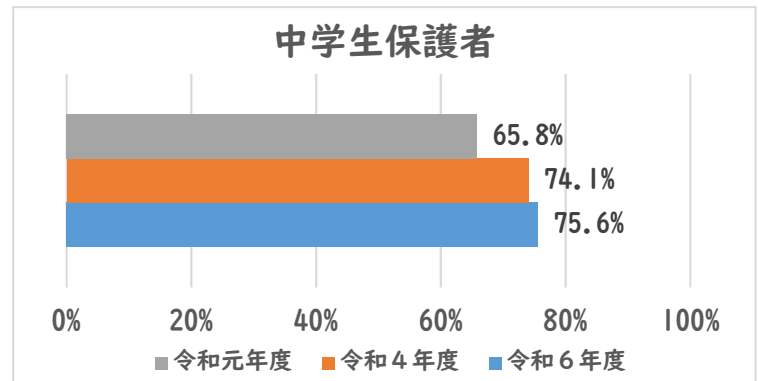
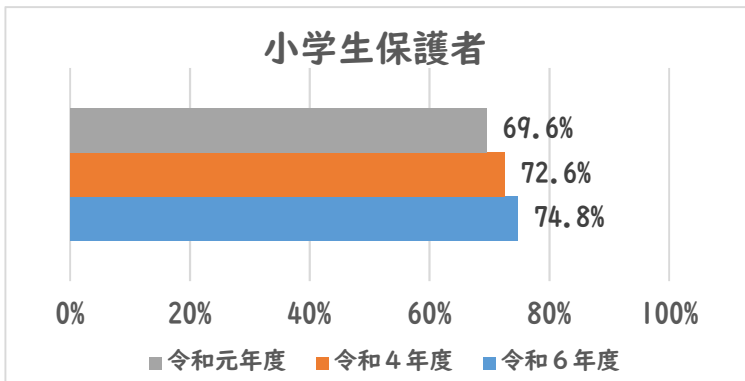
### ●集計結果

期 間:7月11日～8月2日

回答数:小学校教員 374人/中学校教員 180人/小学校保護者 3,900人/中学校保護者 1,612人  
ご協力ありがとうございました。いただきました回答をまとめ、今後の教育行政の参考とさせていただきます。

### ●防災に関する意識調査結果について

「地震や火災が起こった時の安全な行動について話し合う」についての集計結果（経年比較）



令和元年度からの3年分の経年比較で見ると、「心がけている」（「とても心がけている」+「まあ心がけている」）と回答した割合は、小学校・中学校とも増加しています。前回の令和4年度の調査結果からも、小学校は2.2ポイント増加の74.8%、中学校は1.5ポイント増加の75.6%という結果となりました。

### ●避難所運営体験（防災教育）

市内各小中学校では、引き渡し訓練や、避難訓練、また授業などで、災害・防災についての備えを行っています。それらに加え、今年は市内の全中学校3年生を対象に、市職員とともに市の避難所運営の体験をしていただき、避難所として運営する際に必要となる仮設トイレの組み立て、発電機の起動、パーテーションの設置を行いました。

▶明海南小の児童も見学に来ました



令和6年1月に発生した能登半島沖地震では、被災地域の高齢者率が高かったこともあり、地域の学生たちが積極的に避難所運営に参加したとのことでした。

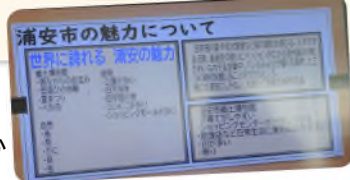
本市においても災害に備え、避難所運営に中学生をはじめとした学生の皆さんに参加していただけるように今回の体験授業を実施しています。



◀仮設トイレを組み立てる明海中生徒



# ランチミーティング



12月2日、浦安中学校で、市長・教育長と生徒のランチミーティングが実施されました。このランチミーティングは、将来のまちづくりの担い手である児童生徒が市政や政治に対する関心と理解を深めることを目的に、小中学校で年に複数回実施しています。今回は、「外国人旅行者に浦安市の魅力をどのように伝える？」というテーマのもと、クラスでまとめた意見を発表しました。



発表後、市長・教育長からは、発表の素晴らしい点や、提案を実現する際の課題などが挙げられ、生徒たちと意見を交換しました。生徒からも、市長・教育長へ対し、今後のまちづくりなどの市政に関する質問や、アニメ・音楽などの質問が飛び出しました。また、市長から生徒へ質問を投げかけたところ、生徒からは様々な回答があり、非常に有意義な時間となりました。



## 相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のことお気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談や情報提供	子育て家庭や妊産婦	月～土曜日 9:00～12:00 13:00～16:00	子育て支援室(集合事務所3階) ☎306-3715
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	就学前児、小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育センター まなびサポート(富岡小学校内) ☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課(市役所7階) ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	いちょう学級 猫実 ☎351-1151 入船 ☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 相談専用 ☎0120-211-380 市ホームページにメール相談専用フォームあり
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00	青少年センター(市役所7階) 相談専用 ☎351-1152 市ホームページにメール相談専用フォームあり
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課(市役所7階) ☎712-6792

## 地域こども相談

学校外で相談できる場として、地域包括支援センター(ともづな)を利用し、スクールカウンセラー(公認心理師)が出張相談を行っています。悩みや困りごとなど気軽に相談してください。

場所	日にち	時間
ともづな浦安駅前	令和7年2月3日(月)・3月3日(月)	午前10時～正午
ともづな富岡東野支所	令和7年3月11日(火)	午後2時～4時
ともづな新浦安	令和7年1月17日(金)・2月21日(金)・3月21日(金)	午前10時～正午
ともづな高洲	令和7年1月23日(木)・2月27日(木)・3月27日(木)	午後2時～4時

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談(友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど)に応じています。

教育情報紙

発行：浦安市教育委員会 浦安市猫実 1-1-1 TEL:047-712-6732  
企画・編集：教育政策課・生涯学習課

浦安市教育振興基本計画では、「学び 育み 認め合い 『未来を創造する』人づくり」を基本理念として、学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、豊かな浦安の未来を創造する人づくり、地域づくりを推進しています。

教育情報紙「うらやすスタイル」では、学校教育をはじめ、生涯学習の取り組み、地域と子どもとのかかわりなどの教育情報を発信していきます。